

令和 5 年度 専門学校デジタルアーツ東京
学校関係者評価報告

令和 5 年 8 月 3 1 日

令和 4 年度学校自己評価（基準日：令和 5 年 3 月 31 日）をもとに評価実施

 菅原学園

専門学校 デジタルアーツ東京

学校関係者評価委員会報告

学校法人菅原学園 専門学校デジタルアーツ東京では、本校の学校関係者評価委員会規定に基づき委員会を実施いたしました。以下に議事進行についてその内容をご報告いたします。

今後は、各委員からの貴重な意見や提案を真摯に受け止め、学校運営の改善および教育の質の向上に努力いたします。

会議名：学校関係者評価委員会

日 時：令和5年7月27日（木） 16：15～17：15

会 場：専門学校デジタルアーツ東京

出席者：学校評価委員会、事務局

◎欠席者：山根裕二郎（業界関係者）※急遽欠席

江口博昭（業界関係者）※急遽欠席

1. 学校関係者評価委員及び事務局について

（1）学校関係者評価委員

業界関係者：関根史暁（株式会社サンステラ 技術推進部課長）

業界関係者：山根裕二郎（株式会社いなほ 代表取締役）

業界関係者：東海林龍（株式会社レオパードスティール 代表取締役）

業界関係者：藤沢理子（株式会社エッジワークス 取締役）

業界関係者：須藤創（株式会社エスプラス 代表取締役）

業界関係者：山本健太郎（株式会社ループエンド 代表取締役）

業界関係者：江口博昭（株式会社デジタルワークスエンタテインメント 総務部長）

卒 業 生：金澤美菜子（CGアーティスト）

地 域 住 民：平山智邦（地元企業：有限会社ツチキン 取締役）

（2）事務局

学校教職員：都築敏明 専門学校デジタルアーツ東京 副校長

学校教職員：五十嵐ゆかり 専門学校デジタルアーツ東京 教頭 兼 企画広報部 部長

学校教職員：平井俊之 専門学校デジタルアーツ東京 教務部 部長

学校教職員：三井田大樹 専門学校デジタルアーツ東京 教務部教務課 課長

学校教職員：青田美穂 専門学校デジタルアーツ東京 学生部 課長

学校教職員：有我正則 専門学校デジタルアーツ東京 事務管理室 事務長

2. 委員会次第

- ・代表挨拶および学校概要紹介
- ・委員および事務局自己紹介
- ・令和4年度自己点検・自己評価紹介
- ・討議、意見交換
- ・閉会の挨拶

3. 討議、意見交換

(1) 教育理念・目標（人材育成・教育体制・業界交流）

委員側から、昨今の若者の傾向として心と体の成長が未熟で社会人としての常識や心構えが身についておらず考え方が幼く感じる。専門学校は本来自分のなりたい職業の専門的な知識や技術を身につける場であるが、学生から社会人へと変化を促す教育にも重きをおいて教育してほしいとの意見があった。

事務局側からは、本校の学生は真面目であるが多いがコミュニケーションについては苦手な学生が多いと感じている。それは昨今の学生全体の特徴でもあるが、コロナによる対面での直接的な教育の減少や通信制高校へ進学する生徒の増加による影響も考えられる。菅原学園全体の教育テーマでもある「人間力」の向上に継続して取り組んでおり、特に「コミュニケーション能力」の向上に重点を置き学生指導にあたっていると説明した。

それに対し委員側から、学校としても専門教育を行い学生の技術を向上させることを目標としたいところだとは理解しているが、人間教育に重きをおいて指導することで結果的には業界で通用する人材になっていくことになると思うので引き続きお願いしたいとあわせて要望があった。

(2) 学校運営（運営方針・事業計画・情報公開）

事務局側から新型コロナウイルスの位置づけが第 5 類に移行し学校運営を通常の形に戻す動きを取っている。ただし時代はコロナ以前の状況ではなくなり、様々な点でスピード化されており学校としても、そのスピードに乗り遅れないようしっかりとアンテナを張り巡らせておくことが必要と感じている。また、学園全体として業務の効率化を図るためグルーウェアを活用していることを報告。教職員のスケジュールや教室の管理、各部署の業務連絡に活用する他、決裁を受けるための稟議書や各種データのやり取りにも利用しペーパーレス化も図っていると説明した。

委員側からは、現在の IT システムを取り入れて DX 化を進めるというのは非常に多くの人の苦勞と努力あってできることだと考える。それが順調に行われていることは非常にいい流れを作っていると思う。時代に則り運営することが大切で、情報化を進めながら時短や省力化を図っているのは良いとの評価を受けた。授業だけでなく学生指導でますます時間がとられることになる教職員の負担軽減につながる取り組みであり、さらに整備していったほしいとの意見も受けた。

(3) 教育活動（人間教育・技術習得・人間形成）

事務局側から、教育活動においては各学科が現在の業界で必要とされる技術の習得を進めるためのカリキュラムを作成したうえで、実際の授業を進めていくシラバスを重視していると説明した。特に専門学校として即戦力の学生を業界に輩出できる授業内容になるよう学科担当者と講師が連携を取りながら取り組んでいる。学生のスキルをどこまで高めるのか目標設定し教育プログラムを開発することが大切で連携している企業からも意見やアドバイスを受けながら改善を図っているところである。また、シラバスについては授業の他、学校ホームページでも公開し学生や保護者がどのような教育が行われるのか確認できるようになっていると報告した。

委員側からシラバスを公開することは学生だけでなく、これから入学を検討している対象者にとってもひとつの判断材料となるので教育活動をオープンにすることは良い試みであるとの意見があった。

(4) 学修成果（学力向上・就職率向上・退学率軽減）

事務局側から退学者を減少させるため、担任と学生との定期的な面談を行いながら学習指導をする他、長期欠席者に対しては保護者とも密に連絡を取り対応している。その結果、前年に対し退学者の減少が図られていると報告した。また今年度は学科ごとに退学者を減少させる対策を取りまとめ、学科の特性に合わせた指導を進めている。合わせて入学者に対しオリエンテーション時に心理アセスメントを実施。学生個々の心理状態や考え方や行動の傾向を掴むことでその後の指導に役立てていく取り組みも始めたと説明した。

委員側から心理アセスメントについては教員の印象だけでなく、客観的な数値で確認できるのは良いと思う。デジタルアーツ東京の良さである少人数教育による先生とのふれあいとデータによる対応で良い方向に進むのではないかと思うとの意見があった。また、心理アセスメントは入学時だけでなく、2年生進級時にも行い入学時からの変化も確認しながらの指導に活かした方が良い。利用する側が学生の変化を把握できず入学時からの情報で一貫した指導になってしまうのは勿体ないと思うとの意見があった。その他、これらの情報は学生と担任だけでなく講師にも提供し授業においての指導に役立ててほしいとの要望もあった。

(5) 学生支援（キャリアサポート・就職ガイダンス・担任制）

事務局側から学生に対する支援について学生支援機構奨学金並びに文部科学省の就学支援新制度を活用している。特に就学支援新制度については、文部科学省より認定を受けなければ利用することができず、都内の専門学校でも半数程度の学校しか認定を受けられていないため、学校のアピールポイントにもなっている

委員側から学校としては学習支援や就職支援の他、経済的な支援の制度があることは大変良い。認定にあたる手続等についてはかなりの労力になるとは察しているが、ぜひ続けてほしい。また、通信制高校に在籍している生徒が年々増加している中で、通学に慣れていない学生が多くなっていると思われる。その点についてもデジタルアーツ東京の個別指導という良さを活かして指導に当たってほしいとの要望があった。

(6) 教育環境（設備充実・学校環境・少人数制）

適切であると判断された。

(7) 学生の受け入れ募集（学生募集・体験入学・学校説明会）

事務局より学生募集の軸となるオープンキャンパスにいかに動員するかを目標に取り組んでいる。特に今年度は新型コロナが第5類に移行したこともあり、上級学校への進学希望者に対する高校での指導が以前のように見学し自分の目で確認させるよう変わってきているため、非常に重要になっている。開催日により授業内容を変化させ興味を沸かせる工夫やコースごとに授業内容を変えてより具体的に学べるようにする等、学科ごとに授業内容で特徴を出し動員に繋げられるよう取り組んでいると説明した。また、広報活動も進学媒体誌だけでなくSNSを利用した情報提供による広報活動に力をいれていることを報告した。

委員側から学生募集においてデジタル化が進んでいることは自身も高校生の保護者であり、実感している。集められたデータはどのように活用されているのか質問があった。

事務局側から進学サイトや高校内で行われるガイダンスで取得した情報からダイレクトメール

やメールでの体験入学への動員に利用している。

委員側から学校からの情報が子供のスマートホンのみに配信されることが多く、保護者が状況を掴みづらくなっているように感じる。進学先検討には保護者の意見も重要なため、保護者に対する対応も検討したほうが良いとの意見があった。

(8) 財務（適切な財務運営維持）

ホームページ上で公開しており、適切であると判断された。

(9) 法令等の遵守（個人情報等の各種法令の遵守）

適切であると判断された。

4. 配布資料

- ・入学案内書
- ・自己評価表